取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DX ANTENNA
DX ANTENNA CO., LTD.

DIGITAL

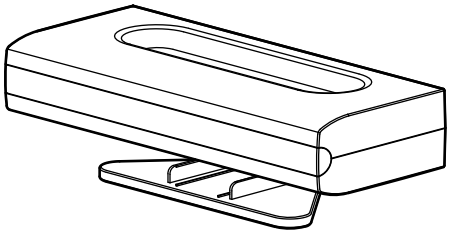
地上デジタル放送対応

DIGICATCH

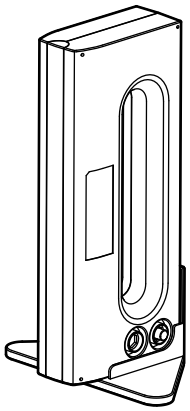
地デジUHFアンテナ(ch.13~62)

［水平・垂直共用、出力75Ω（F形座）仕様］

US200



〈横置：水平偏波受信〉



〈縦置：垂直偏波受信〉

製品の特長

- ツートンカラーのスマート、コンパクトな外観で、テレビの横など室内はもちろん、ベランダやマストなどの屋外にも設置できます。
- 新方式の「フラットスリーブアンテナ方式（※1）」採用により従来のアンテナに比べて大幅な小形化と高性能化（※2）を実現しました。
- 地上デジタル放送対応で、1台のアンテナでUHFのすべてのチャンネルに対応できます。

（※1）当社内名称、特許出願中

（※2）JEITAのデジタルハイビジョン受信マーク制度『区分D』に登録されました。『区分D』とは、放送電波の強い条件下で使用でき、アンテナ素子が樹脂等で覆われている、屋外に設置可能なアンテナに対する規格です。

安全上のご注意

⚠	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
❗	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

⚠ 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナの設置・受信には経験が必要ですので、お買い上げの販売店などにご相談ください。

- アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。故障やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は販売店などにご依頼ください。

- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。

- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
  感電の原因となります。

●次のような場所に設置しないでください。
・強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所　・人や車両の通行の妨げになる場所
・送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く　・煙突の付近や、高温になる場所

●高所など足場の悪い場所で設置作業をする際は、十分注意してください。また。アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。落ちたり、すべったり、けがの原因となります。

●組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

⚠ 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

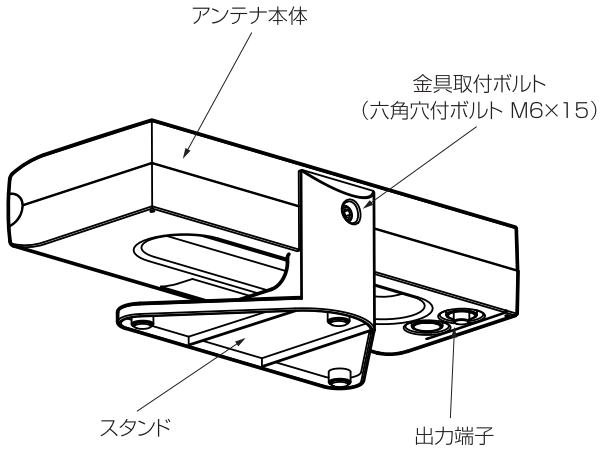
●アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

●マンションやアパートなどによっては、屋外の取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

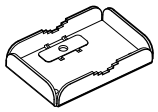
お取扱いの前に

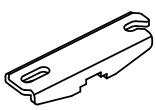
●組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
●アンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
●屋根や壁面、ベランダの手すり等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
●強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。

各部の名称



付属品


マスト取付金具
1個


マスト押え金具
1個

六角ボルト
（M6×75）
2本

防水キャップ　1個

六角棒スパナ5mm　1本

ご準備ください

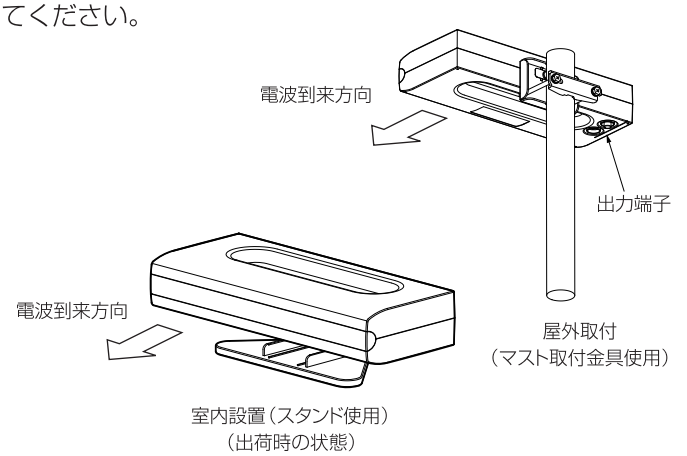
屋内取付時…両端L形プラグ付同軸ケーブル1本
屋外取付時…●F形接栓1個
●片側プラグ付同軸ケーブル1本
●ベランダ金具
※ケーブルの長さはアンテナからチューナまたはチューナ内蔵テレビに届く長さです。
使用工具：十字ドライバ（接栓加工時…カッターナイフ、ペンチ）

受信偏波とアンテナ取付方向

●受信する電波の偏波面（水平または垂直）に合わせてアンテナの取付方向を下図のように変えてください。取り付ける場所の放送が水平偏波か垂直偏波かはお買上げの販売店にお問い合わせください。
出荷時は横置（スタンド使用、水平偏波受信）となっています。

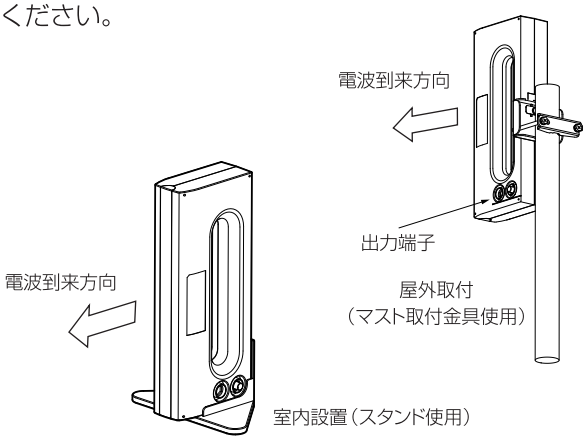
〈水平偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。



〈垂直偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下側になるように取り付けてください。



屋内設置

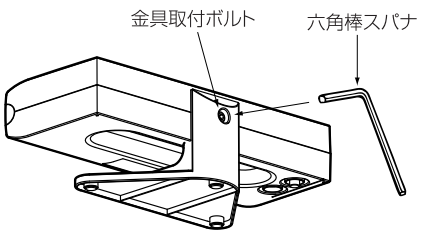
〈アンテナ部とスタンドの取り付け／取りはずし〉

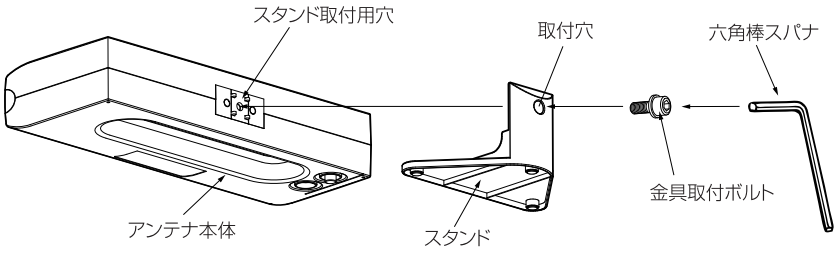
横置き（水平偏波受信）の場合

●本体を箱から取り出し、そのまま同軸ケーブルでテレビと接続してご使用ください。

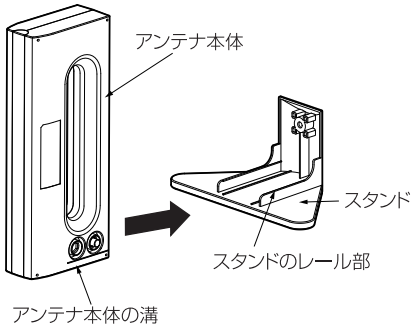
縦置き（垂直偏波受信）の場合

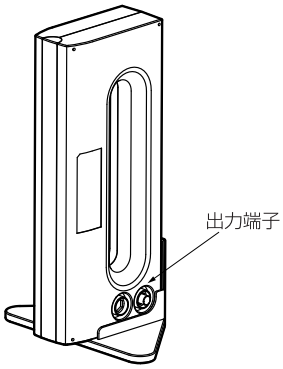
①出荷時は金具取付ボルトでアンテナ本体とスタンドを固定しています。
縦置にする場合は付属の六角棒スパナで金具取付ボルトを回して、スタンドを取りはずしてください。



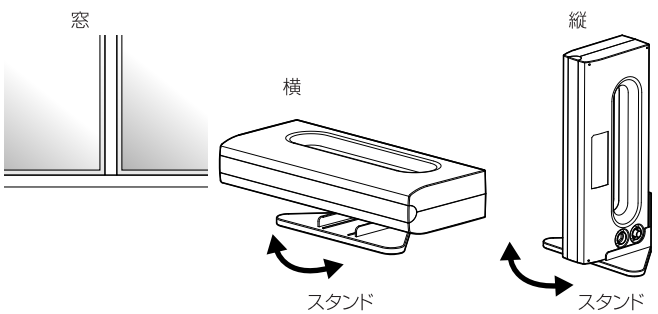


②出力端子が下側になるようにアンテナを縦向きにして、アンテナ本体の溝とスタンドのレール部とが合うようにはめ込んでください。
※金具取付ボルトは使用しません。取りはずした金具取付ボルトと六角棒スパナは保管しておいてください。





〈方向調整〉



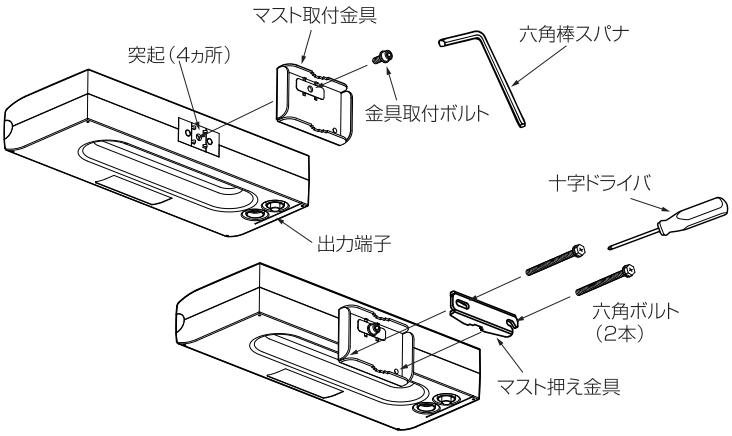
●屋内で使用する場合は、スタンドを利用して良好な受信ができるようにアンテナの方向を調整します。
詳しくは「使用例」をご覧ください。

ポイント
窓際などでアンテナの向きをいろいろかえながら最も良く受信できるアンテナの向きを探してください。
屋内に設置して良好な受信ができない場合は、ベランダなどの屋外に設置することをお勧めします。

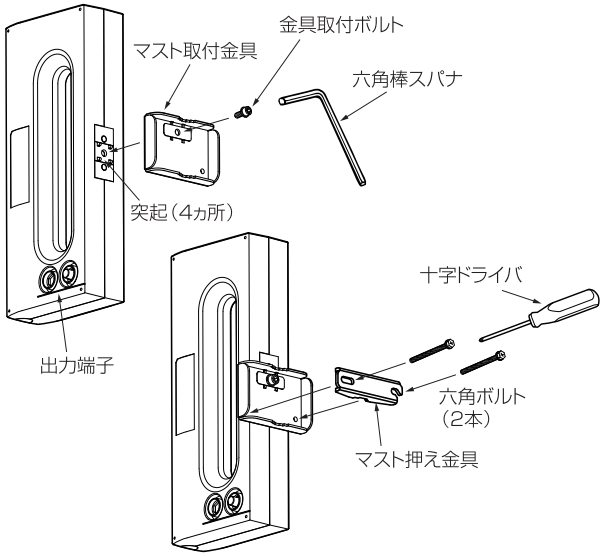
〈マスト取付金具の取り付け〉

①アンテナ本体からスタンドを取りはずします。（左ページの〈アンテナ部とスタンドの取付け/取りはずし〉をご覧ください。）
②アンテナ背面の4つの突起部分にマスト取付金具をはめ込みます。このとき、受信する放送の偏波に合わせてアンテナ本体の向きを横向きか縦向きかを選びます。（放送が水平偏波か垂直偏波かはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）
③六角棒スパナを使用してアンテナ本体とマスト取付金具を金具取付ボルトで締め付け固定します。（締付トルク　4～5N·m）
④アンテナ本体の出力端子を下側にして、図のように六角ボルトをマスト押え金具の穴に通してマスト取付金具のボルト穴に取り付けます。

〈水平偏波受信の場合〉

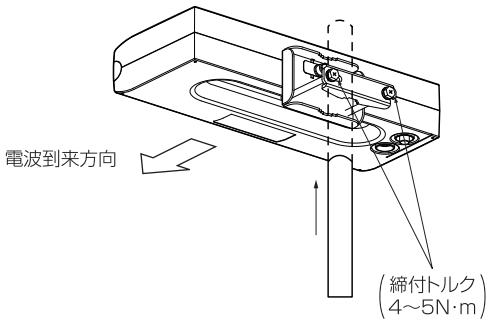


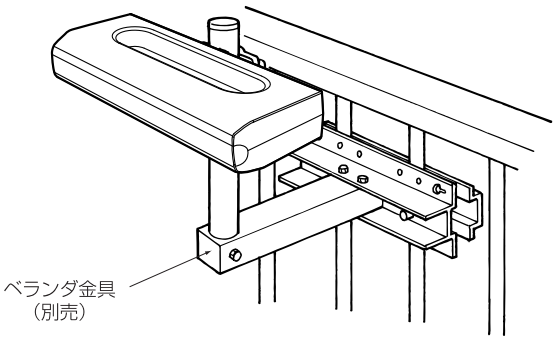
〈垂直偏波受信の場合〉



〈別売のベランダ金具を使用する場合〉

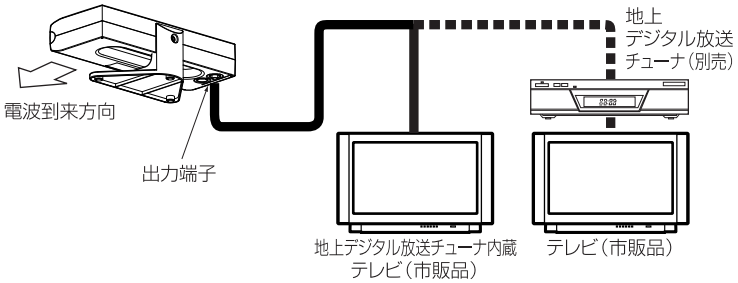
ベランダ金具（別売）をベランダや壁面に取り付けてください。
（取付方法はベランダ金具の取扱説明書をご覧ください）
ベランダに取り付ける場合は、マスト径がφ15～38.1mmのベランダ金具（別売）をご使用ください。





使用例

①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナ内蔵テレビまたは地デジチューナのアンテナ入力端子を同軸ケーブル（別売）で接続してください。
②地上デジタル放送チューナ内蔵テレビや地デジチューナのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナ内蔵テレビなどの取扱説明書をご覧ください。）

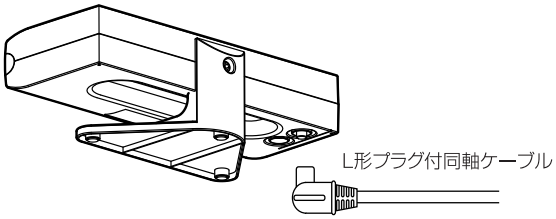


アンテナを左右に動かして受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。

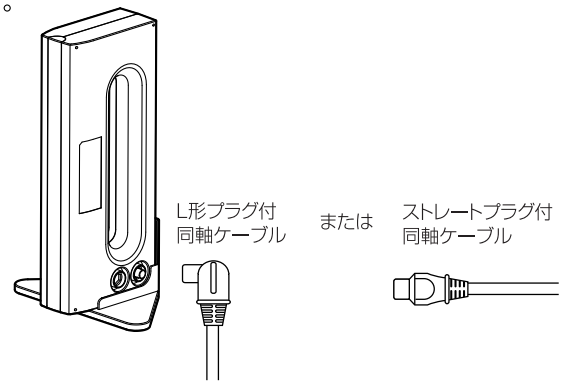
本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

〈屋内で使用する場合〉

- 屋内で使用する場合は、図のように付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- 別売のF形接栓加工済の同軸ケーブル（2C相当の両側L形プラグまたは片側L形、片側ストレートプラグ）等のL形プラグ側をアンテナ本体に接続して使用することをお勧めします。

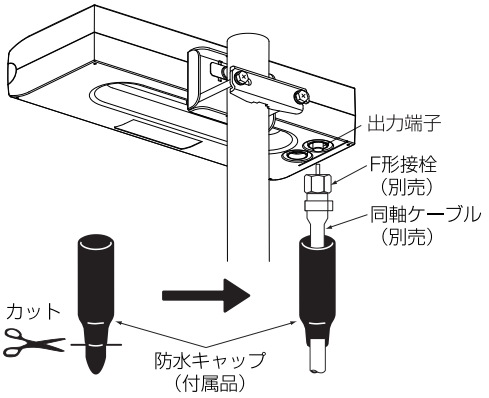


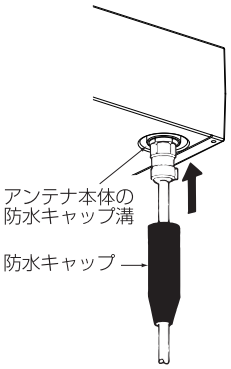
（注）差込式プラグの場合、長期間使用すると自然に抜け落ちることがありますので、時々接続状態をたしかめてください。



〈屋外で使用する場合〉

- 同軸ケーブル、接栓（いずれも別売）を使用し、図のように加工して接続するか、または接栓付同軸ケーブル（別売）をご使用ください。
  ※同軸ケーブルはできるだけ4Cまたは5Cケーブルのご使用をお勧めいたします。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。
- 付属の防水キャップの先端をケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブル（別売）に通しておいてください。
- 同軸ケーブル先端にF形接栓を取付けた後、アンテナ本体下側の出力端子にしっかりと確実に接続してください。（接栓締付トルク　2N·m）
- F形接栓をアンテナ本体に接続した後、防水キャップ（付属品）をアンテナ本体の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んで接栓部を雨水などからカバーしてください。



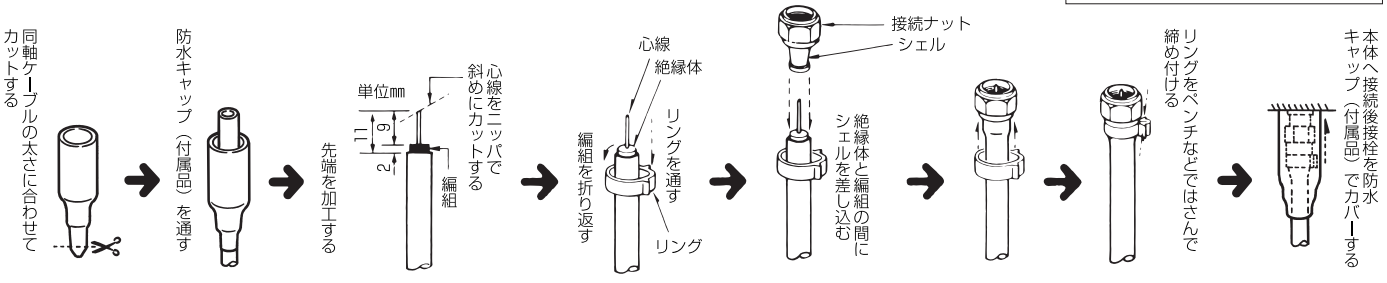


〈F-5接栓（別売）へのアンテナケーブルの接続方法〉

5C相当同軸ケーブルにF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。

（5C-2V用）

接栓締付トルク　2N·m

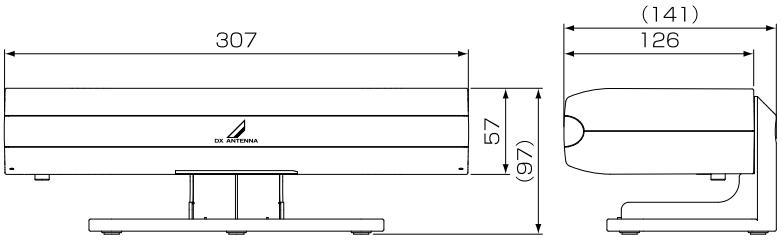


- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線·編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- この製品へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N·mで締め付けてください。（2N·m以上では締め付けないでください。）
- この製品に取り付ける同軸ケーブルの心線径が0.8mmより太い場合は、できるだけコンタクトピン付き接栓をご使用ください。
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。

使用上のご注意

- このアンテナではVHF（ch.1～12）は受信できません。
- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかまたは時々ブロックノイズがでるなど不安定な受信状態になることがあります。（このアンテナは地上デジタル放送に加え、従来のUHFアナログ放送も受信可能です。しかし、アナログ放送の受信レベルが低い場所では受信できない場合があります。）
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はドライバやスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、受信不良が起こったり、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- 地域によって受信する電波が水平偏波（横置）、垂直偏波（縦置）かをご確認の上、ご使用ください。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

外形寸法図



（単位：mm）

規格特性

品名	地デジUHFアンテナ
品番	US200
受信周波数（MHz）	470～770(ch.13～62)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス（Ω）	75（F形）
利得（dB）	3～5
VSWR	2.5以下
前後比（dB）	9～16
半値幅（°）	60～75
適合マスト径（mm）	φ15～38.1
寸法（HxWxL）	97×307×141（スタンド含む）
質量（kg）	0.7（スタンド含む）

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

JEITA デジタルハイビジョン受信マークは、（社）電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251㈹　・新潟営業所 TEL.(025)276-2166㈹　・三重出張所 TEL.(059)226-1643㈹　・高松営業所 TEL.(087)868-1222㈹
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830㈹　・茨城営業所 TEL.(029)826-5341㈹　・金沢支店 TEL.(076)261-9988㈹　・松山営業所 TEL.(089)925-3826㈹
・東北支店 TEL.(022)243-2141㈹　・千葉支店 TEL.(043)253-1121㈹　・富山営業所 TEL.(076)422-7878㈹　・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343㈹
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581㈹　・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281㈹　・大阪支店 TEL.(06)6304-5651㈹　・福岡支店 TEL.(092)541-0168㈹
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131㈹　・柏出張所 TEL.(04)7192-1681㈹　・堺営業所 TEL.(072)278-5311㈹　・北九州営業所 TEL.(093)922-6556㈹
・東京支店 TEL.(03)3526-5402㈹　・静岡営業所 TEL.(054)281-0141㈹　・京都営業所 TEL.(075)382-6141㈹　・長崎出張所 TEL.(095)842-0780㈹
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911㈹　・浜松営業所 TEL.(053)461-6885㈹　・神戸支店 TEL.(078)579-8550㈹　・大分営業所 TEL.(097)504-7799㈹
・横浜支店 TEL.(045)651-2557㈹　・中部支店 TEL.(052)919-6531㈹　・姫路出張所 TEL.(079)283-5920㈹　・熊本営業所 TEL.(096)325-0711㈹
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102㈹　・松本営業所 TEL.(0263)27-7801㈹　・広島支店 TEL.(082)237-5331㈹　・南九州営業所 TEL.(099)267-8211㈹
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311㈹　・豊橋営業所 TEL.(0532)69-2370㈹　・岡山営業所 TEL.(086)245-2948㈹　・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202㈹
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100㈹

（2008年7月現在）

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

4413

ZG-N-EZ3Ⓡ